



雪の恩恵

厳しい冬、たくさんの雪はやがて豊かな湧水に

雪の鳥甲山



積雪 7.85m の標柱

ユーラシア大陸からの季節風は、日本海を渡る際に対馬暖流上で水蒸気を蓄え、三国山脈にぶつかりたくさんの雪を降らせます。この地域は、毎年平均3mの積雪がある多雪地域であり、雪が現在の自然環境をつくりだしています。年間降水量の半分以上が雪によるもので、雪は私たちの生活にとって大切な水資源です。

私たちの祖先は、雪を克服し利用し、雪とともに生きてきました。そこには雪国独特の文化が生まれました。この地で生きるための文化を子どもたちと体験しながら学び、未来へとつなげていきます。



スカリ（雪上歩行具）をつけて歩く図
『北越雪譜』鈴木牧之著より
所蔵：鈴木牧之記念館



山に抱かれる秋山郷

今も生きづく、日本の原風景

中津川の上流域には「秋山郷」とよばれる山村地域があります。苗場山や鳥甲山の麓に村々が点在しています。

江戸時代の文人鈴木牧之はこの秋山郷を訪れ、風景や人々の暮らしを『秋山記行』に描きました。色彩豊かな絵図を片手に、牧之の足跡をたどる旅に出かけませんか。

深い渓谷でありながら村々が営まれているのは、崩落や川のはたらきなどで平らになった場所が利用されているためです。その歴史は約8,000年前の縄文時代に遡り、現代まで脈々と生活が続けられてきました。

自然との密接な関わり合いが今も生きついています。



苗場山と小糸沢集落



牧之も描いた見倉集落



秋の見倉橋

縄文

JOMON

世界4大文明よりも古い頃、苗場山麓には落葉広葉樹が繁茂し、雪国縄文文化が営まれました。津南町・栄村には拠点となるムラがあり、1万年もの間森と共生した歴史をもちます。そうした中で彼らは、“火焔型土器”をつくりだしました。火焔型土器は現在もなお、私たちに驚きと感動を与えてくれます。



飲食

EATING AND DRINKING

苗場溶岩流の末端から湧き出る豊富な水。その水の恵みによって美味しいお米やお酒がつけられています。また、古くから伝わる雑穀栽培や森で採れる木の実やキノコ、山菜も貴重な食材です。そして山鳥や熊、鮭や鱒なども貴重な動物性タンパク源です。これらの食材からこの地ならではの食文化が育まれました。



温泉

ONSEN

苗場山麓には、中津川流域・志久見川流域と信濃川流域に分かれて温泉が点在しています。この温泉も大地の活動による恩恵のひとつです。これらの温泉は、大きく分けて食塩泉と硫黄泉に分かれます。効能と景色の異なる温泉をめざして、スパ・トレッキングを楽しんではどうでしょうか？



ガイドと一緒に苗場山麓を楽しもう！

苗場山麓ジオパークでは、ガイド養成講座、ガイド認定試験を経た地元ガイドが皆様をお待ちしております。苗場山麓の雄大な大地の履歴や美しい風景、その背景には、成り立ちやそこに息づく動植物、そしてここに暮らしてつづけてきた人の歴史文化があります。そのすばらしさを地元の言葉で伝えたい。さらなる知識や感動を持ち帰っていただきたい。そんなふうに願っています。ぜひガイドと一緒に苗場山麓を巡ってみませんか。

- ガイドの依頼は2週間前の予約を原則とします。
- 料金その他、詳細につきましては、下記津南町観光協会まで。



■ガイドの依頼・お問合せ

津南町観光協会
☎025-765-5585

■苗場山麓ジオパーク拠点施設

津南町農と縄文の体験実習館(愛称:なじょもん)

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡乙835番地
TEL 025-765-5511 URL <http://www.najomon.com>

ニュー・グリーンピア津南

〒949-8313 新潟県中魚沼郡津南町秋成12300
TEL 025-765-4611 FAX 025-765-4620 URL <http://www.new-greenpia.com>

秋山郷総合センターとねんぼ

〒949-8321 長野県下水内郡栄村大字堺18281
TEL 025-767-2202 FAX 025-767-2276

栄村震災復興祈念館「絆」

〒389-2702 長野県下水内郡栄村大字北信3586-4
TEL 0269-87-2200 FAX 0269-87-2366

■観光・宿泊案内

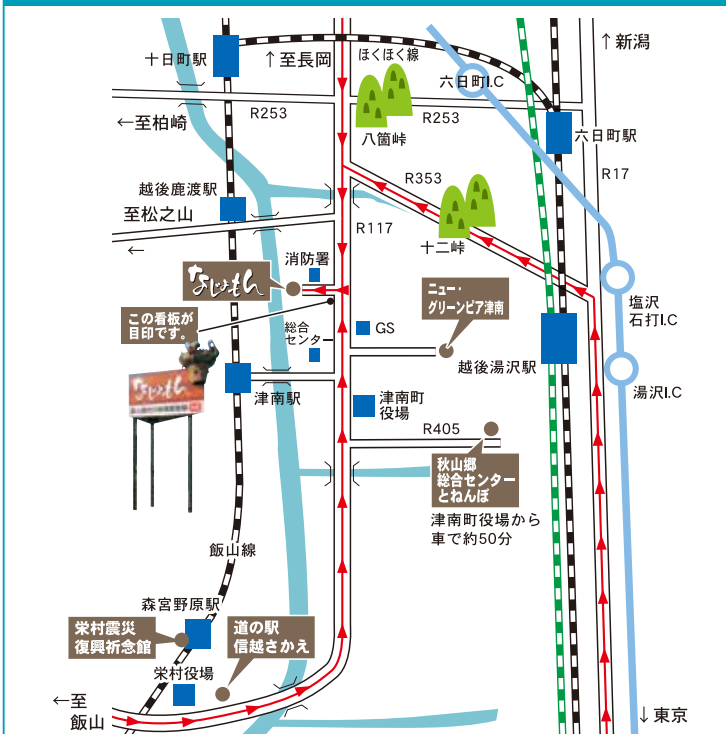
津南町観光協会 TEL 025-765-5585 URL <http://tsunan.info/>
栄村役場商工観光課 TEL 025-767-2202 URL <http://sakae-akiyama.com>
(秋山支所内)

■お問合せ

苗場山麓ジオパーク推進室

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡乙835
TEL 025-765-1600 FAX 025-765-5511 URL <http://naeba-geo.jpn.org/>

苗場山麓ジオパークへのアクセス



■お車の場合

東京方面	関越自動車道	塩沢石打IC	R353・R117経由 35分	津南町	R117 10分	栄村				
新潟方面	関越自動車道	越後川口IC	R117経由 60分	津南町	R117 10分	栄村				
名古屋方面	中央自動車道	岡谷JCT	長野自動車道	更埴JCT	上越自動車道	豊田坂山IC	R117経由 50分	栄村	R117 10分	津南町
金沢方面	北陸自動車道	上越JCT	上越自動車道							

■JRをご利用の場合

東京方面	上越新幹線	越後湯沢	南越後観光バス	津	南越後観光バス	客宮野原(栄村)	
			50分		15分		
新潟方面	上越新幹線	長岡	JR上越線	越後川口	津	JR坂山線	客宮野原(栄村)
名古屋方面	JR中央本線	長野	JR坂山線	客宮野原(栄村)	JR坂山線	津	
金沢方面	北陸新幹線	坂山	JR坂山線	客宮野原(栄村)	JR坂山線	津	



Naeba-Sanroku Geopark

苗場山麓ジオパーク

雪のふる里

—奥信越の川と火山がつくりだした大地・雪に育まれた自然と歴史文化—

日本有数の多雪地帯として知られる津南町と栄村は、苗場山の北西麓に位置し、1年のうち5ヶ月近くが雪に覆われます。私たちの祖先は、その脅威に耐え、時には利用しながら、雪とともに暮らししてきました。中津川上流には、「秋山郷」と呼ばれる、どこか懐かしい山村風景や大地の景観が今もなお残っています。そこには、江戸時代の文人鈴木牧之が『秋山記行』に描いた時と変わらぬ暮らしが現在も続いています。

なぜ、私たちはここに住みつづけるのでしょうか？

先人たちは知っていました。降り積もった雪は水となり森に蓄えられ、そして大地を潤し、やがて豊富な湧水となることを。湧水が生態系を育み、私たち人間は、その恵みを受けて生きられることを。

中津川下流では、階段のような美しい段丘を一望することができます。さらに、その段丘の上に覆いかぶさる苗場山の溶岩をはっきりと見ることができます。火山の噴火のすごさや川のはたらきを目の前にして、大地（地球）は生きていることを学びましょう。そして、この地で1万年間森と生きた縄文の民に習い、自然と共生することを再確認しましょう。

私たち人間はこれから、大地や自然とどのように付き合い接していくべきでしょうか。

それを五感を通して体感しながら学ぶ場所、それが苗場山麓ジオパークです。

苗場山麓ジオパーク

ジオパークとは？

直訳すると「大地の公園」。地球の成り立ちを観察できる地形や地質、そこに育まれた生態系と私たち祖先の歴史文化を守りながら体感して楽しく学ぶ場所です。



地球から学び、未来へつなぐ